

# 水戸市中心市街地活性化協議会 提案事業一覧 【産業創生部会】

No.	提案事業名	継続 新規	現計画へ 位置付けた事業名	提案事業の目的	提案事業の概要	提案事業の 事業主体	概算事業費 (千円)	市の考え方	備考
1	水戸版リノベーションスクール(仮称)の運営	継続	まちなかリノベーション事業	空き店舗を活用し、エリアの価値をあげるために、不動産オーナーとテナント候補者などを繋ぎ、個別に事業化を促す仕組みをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き物件を活用した事業を考えている人に向けて、遊休不動産のリノベーション事業計画の作成及び事業化を支援する、短期集中合宿型(3泊4日)のワークショップを実施する。</li> <li>・ワークショップでは、受講者が市内の空き物件の調査・不動産オーナーへのヒアリング等を行う。</li> <li>・最終的には事業性や投資回収のめどなどを盛り込んだ具体的な計画を作り上げ、オーナーに提案を行う。(提案は自治体の補助金に頼らずに、民間の資金を活用する「民間自立型」を原則とする。)</li> <li>・オーナーに提案が通れば、事業が実際にスタートする。</li> <li>・本事業は、ワークショップを通じてテナント候補者と不動産オーナーの仲立ちを行い、空き物件リノベーションの一連の流れを円滑に進められるよう支援するものである。</li> <li>※まちなみとラボでは、令和元年度に「まちで起業スクール」を実施した実績あり。</li> </ul>	株式会社まちなみとラボ	1,000(千円) 講師謝金、広報費等 ※水戸市などから補助金を受けて実施。	B	現計画「まちなかリノベーション事業」に集約 ※水戸市補助金以外の財源確保の手法を検討すること。
2	新分野展開等補助金の創設	新規	—	<p>ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために、中心市街地内で新分野展開等に意欲を有する中小企業者等を支援する。</p> <p>●新分野進出の需要について</p> <p>①新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査結果※は下記の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる影響を受けて、新たに始めた取り組みや経営工夫</li> <li>異業種への参入が12件中2件18%。</li> <li>・事業の継続性について</li> <li>105件中、困難、廃止譲渡を検討が29件、27.7%。</li> </ul> <p>②経産省:事業再構築補助金の水戸商工会議所受付の申請件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回11件(内、中心市街地3件27%)</li> <li>第2回7件(内、中心市街地2件28%)</li> </ul> <p>同補助金はハードルが高く、水戸独自の補助制度創設の必要性がある。</p> <p>※アンケート調査(令和3年3月1日～24日に実施)</p> <p>対象者:中心市街地内16商店会の455会員</p> <p>実施主体:中心市街地活性化協議会 (事務局:田中耕市教授(茨城大学人文社会科学部経済地理学ゼミナール))</p> <p>回答数:112件(業種割合:飲食・サービス業56%,小売業28.6%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●補助対象者:</li> <li>①水戸市中心市街地で営業している中小企業者等で新分野に進出するもの</li> <li>※引き続き、中心市街地で営業をすることを条件とする。</li> <li>②水戸市中心市街地以外で営業をしているが、新分野に進出して、中心市街地に移転する中小企業者等</li> <li>●補助額:事業転換等に係る費用の2/3(上限1,000千円)</li> <li>●審査:事業計画書を提出いただき、専門家による審査委員会を経て採択する。</li> <li>採択後は、専門家によるアフターフォローも実施する。</li> <li>●エリアに特色を持たせるために、エリアごとに集積を促進する業種を設定し、その業種に新たに取り組む場合は審査の際に加点することも検討。</li> </ul>	水戸市	20,000 (1,000千円×20事業所)	【前回評価】 D②	取り下げ
3	水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会「水戸まちなか未来ビジョン」実現に必要な事業および規制の緩和などの実施	新規	—	<p>現計画において、本協議会から提案した「国道50号の有効活用」を図っていくため、本協議会の構成員である都市再生推進法人株式会社まちなみとラボを中心として、令和2年5月に「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」が設立された。</p> <p>同協議会において、「挑戦心を育む、コンパクトなまちなか暮らしを取り戻す」をコンセプトとした「水戸まちなか未来ビジョン素案」が令和2年度に作成し、同ビジョンの実現を図るために必要な事業および規制の緩和などを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①同ビジョンの具体化に向けて、ビジョンの共有と市の関連する計画への位置付け、広報面での支援</li> <li>②同ビジョンの実現を図るために必要な施策の実施、規制の緩和などを行う。</li> <li>※令和3年度に実施した実証実験を踏まえ、未来ビジョンを策定、公開予定。</li> </ul> <p>実現に向けた具体的な事業については、大通り協議会で協議していく。</p>	水戸市	—	B	